

# 社会資本総合整備計画

中心市街地における公共交通と連携した都市機能集約による賑わいの創出  
(都市再構築戦略事業)

平成 31 年 1 月

富 山 県 小 矢 部 市

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成31年1月24日

計画の名称	中心市街地における公共交通と連携した都市機能集約による賑わいの創出				変更回数	4	重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		交付対象	小矢部市				
計画の目標								

本市は、北陸自動車道や東海北陸自動車道、越前自動車道の高速度道路が交差するほか、あいの風とやま鉄道（旧JR北陸本線）が市域の東西を通過するなど、交通の要衝であることから県の西の玄関口としての役割を担ってきた。また、平成27年3月には、北陸新幹線の東京～金沢間の開業により、交流人口の増大や地域産業の活性化等が期待されている。

現在の小矢部市は、昭和37年に石動町と砺中町の合併により誕生し、石動、津沢の両市街地を核に発展してきた。石動市街地は、あいの風とやま鉄道石動駅を核に形成されているが、モータリゼーションの進展による都市間競争の激化やショッピングセンター、公共施設の郊外化等に伴って、かつての賑わいがみられない状況となっている。また、人口減少、少子高齢化により商店舗の閉鎖、撤退が相次ぎ、中心市街地の空洞化が進み、都市としての求心力も低下している。

こうしたことから、地域交通網の拠点である石動駅を中心とした中心市街地を「中心拠点区域」に位置付け、老朽化した公共施設の中心市街地内部での集約・更新や歴史的建造物の交流拠点としての再活用等により、都市機能の拡散防止と中心市街地の公共・公益サービス機能の維持を図り、多くの人々が集う賑わいのある中心市街地へと再構築を行う。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民図書館入館者数を57,957人/年(H25)から、70,000人(H31)へ増加させる。</li> <li>コミュニティー施設利用者数 (市民会館、石動コミュニティーセンター、勤労青少年ホームの年間利用者数) を 51,962人/年(H25)を維持する。</li> <li>中心市街地の通行者数を増加させる。</li> </ul>							
-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値			備考				
					当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)					
市民図書館入館者数 小矢部市民図書館の年間利用者数					57,957人/年	58,000人/年	70,000人/年					
コミュニティー施設利用者数 (仮称) 石動コミュニティープラザ利用者数 (市民会館、石動コミュニティーセンター、勤労青少年ホームの年間利用者数)					51,962人/年	52,000人/年	52,000人/年					
中心市街地通行者数 中心市街地の1日あたりの通行者数					265人/日	350人/日	350人/日					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,886.4 百万円	A	3,706.4 百万円	B	0 百万円	C	180.0 百万円	D	0.0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	4.6%

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
1-A-1	都市再生	一般	小矢部市	直接	小矢部市	小矢部市中心拠点再生地区都市再生整備計画事業 (都市再構築戦略事業)	小矢部市中心拠点再生地区 52.5ha	小矢部市						3,706.4	-	-	
									合計					3,706.4			

B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
									合計					0			

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31				
C-1	施設整備	一般	小矢部市	直接	小矢部市	駐車場整備	0.50	石動駅南駐車場	3,800㎡	小矢部市						74	
C-2	ソフト事業	一般	小矢部市	間接	実行委員会	イベント支援	0.50	おやべ光のまちプロジェクト	中心地市街地及び観光地のライトアップ	小矢部市						20	
C-3	ソフト事業	一般	小矢部市	間接	推進協議会	活動支援	0.50	周遊提案チラシ事業	クーポン券付チラシの発行配布	小矢部市						2	
C-4	計画調整	一般	小矢部市	直接	小矢部市	事業効果把握	0.50	事業活用調査	事業活用調査	小矢部市						1	
C-5	施設整備	一般	小矢部市	直接	小矢部市	駐輪場整備	0.50	石動駅南駐輪場	120㎡	小矢部市						9	
C-6	施設整備	一般	小矢部市	直接	小矢部市	公衆トイレ整備	0.50	石動駅南公衆トイレ	50㎡	小矢部市						74	
									合計					180.0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
C-1	小矢部市中心拠点再生地区都市再生整備計画 (1-A-1) と一体的に整備することにより、公共交通の補完機能強化、利用者の利便性向上を図る。														
C-2	小矢部市中心拠点再生地区都市再生整備計画 (1-A-1) と一体的に整備することにより、中心市街地地区の交流人口の増加を図る。														
C-3	小矢部市中心拠点再生地区都市再生整備計画 (1-A-1) と一体的に整備することにより、中心市街地地区の交流人口の増加を図る。														
C-4	事後評価を行うことにより、目標の達成状況を確認し、今後のまちづくり方針を明らかにする。														
C-5	小矢部市中心拠点再生地区都市再生整備計画 (1-A-1) と一体的に整備することにより、公共交通の補完機能強化、利用者の利便性向上を図る。														
C-6	小矢部市中心拠点再生地区都市再生整備計画 (1-A-1) と一体的に整備することにより、公共交通の補完機能強化、利用者の利便性向上を図る。														
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

交付金の執行状況

(単位:百万円)

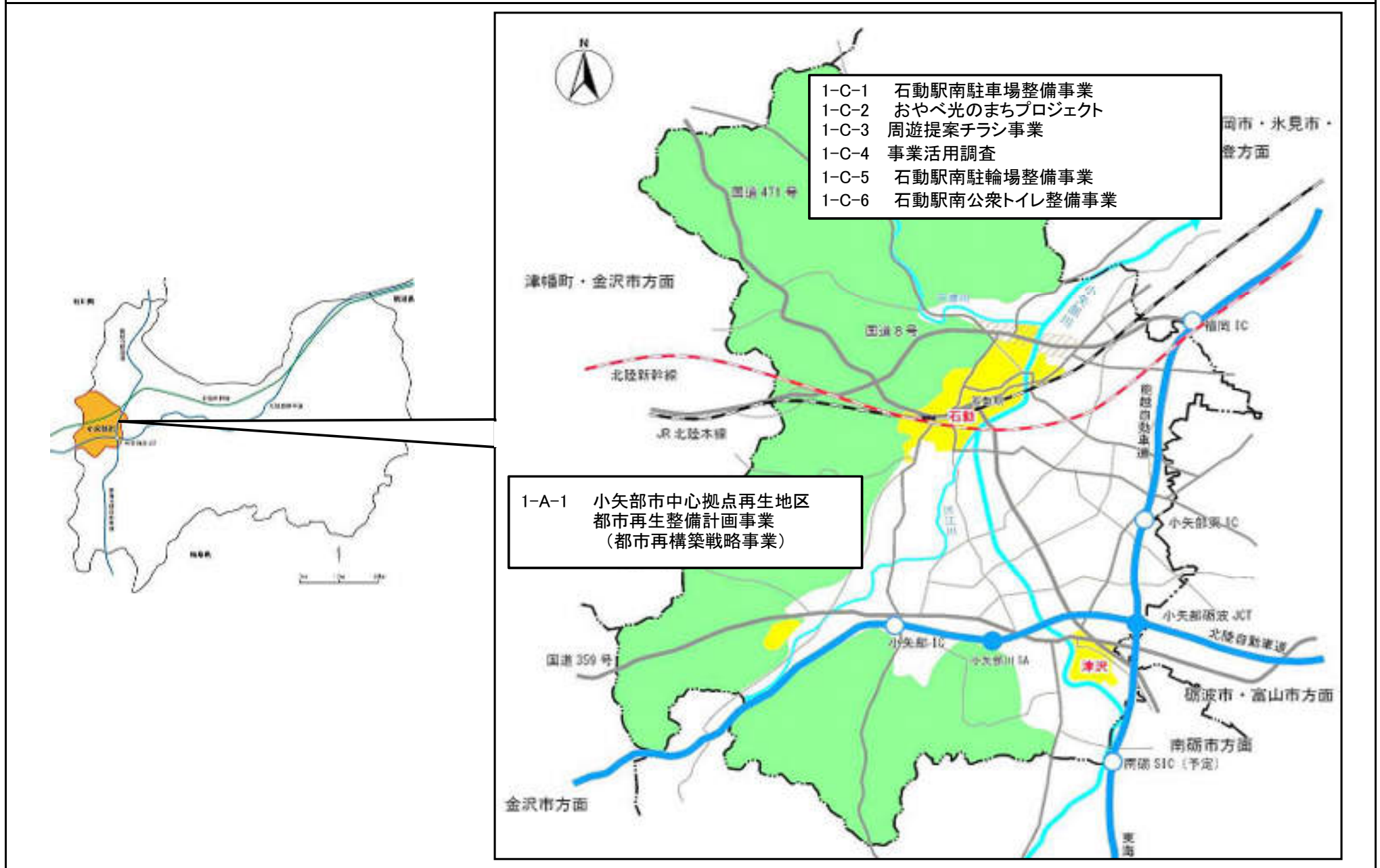
	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)
配分額 (a)	62	290	619	632	253
計画別流用 増△減額 (b)		56			
交付額 (c=a+b)	62	346	619	632	253
前年度からの繰越額 (d)	0	40	334	610	464
支払済額 (e)	22	52	343	778	634
翌年度繰越額 (f)	40	334	610	646	83
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	-	-	-	-	-

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

※ 平成31年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	中心市街地における公共交通と連携した都市機能集約による賑わいの創出	変更回数	4
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	小矢部市



## 社会資本総合整備計画 事前評価調書

計画の名称	中心市街地における公共交通と連携した都市機能集約による賑わいの創出		
交付対象	小矢部市		
計画期間	平成27～31年度(5年間)		
計画の目標	老朽化した公共施設の中心市街地での集約・合築により、石動駅を中心として、多くの人々が集う賑わいのある中心市街地を再構築する。		
定量的指標 (目標値)	・市民図書館入館者数	57,957人/年(H25)	→ 70,000人/年(H31)
	・コミュニティ施設利用者数(市民会館、石動コミュニティセンター、勤労青少年ホームの年間利用者数)	51,953人/年(H25)	→ 52,000人/年(H31)
	・中心市街地の通行者数	265人/年(H25)	→ 350人/年(H31)
対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市再生整備計画事業 (南北自由通路整備、石動駅前広場整備、石動駅北公衆トイレ、(仮称)石動コミュニティプラザ整備、観光案内所整備、新図書館整備)</li> <li>・効果促進事業</li> </ul>		
全体事業費	3,476百万円		

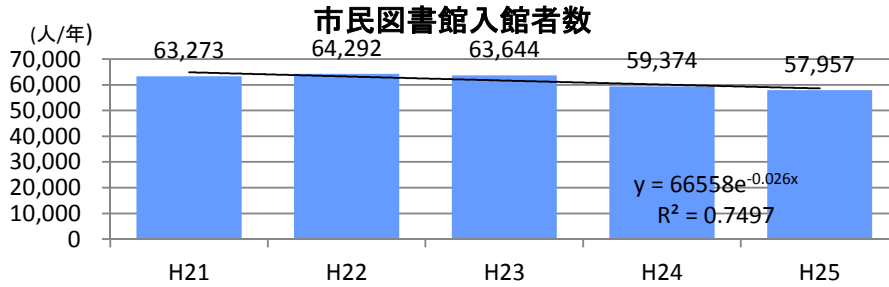
項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	第6次小矢部市総合計画、小矢部市都市計画マスタープランとの整合性が図っている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	石動駅を中心とした中心市街地の活性化のための目標となっている。
計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標に合わせた具体的な定量的指標としている。
	2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	分かりやすさに配慮した指標となっている。
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している。
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	単純明快な指標であり、中間・事後評価を実施できる。
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している。
計画の実現可能性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	あいの風とやま鉄道(株)との合意が得られており、また、パブリックコメントの実施結果から、市民の要望に即した事業であり、推進にあたっての環境が整えられている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	パブリックコメントの実施結果から、市民からの理解を得られている。
評価結果	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">評価Ⅰ 事業を実施</div> 評価Ⅱ 計画の見直し		<b>【評価基準】</b> 「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの 「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの

# 指標 1 市民図書館入館者数

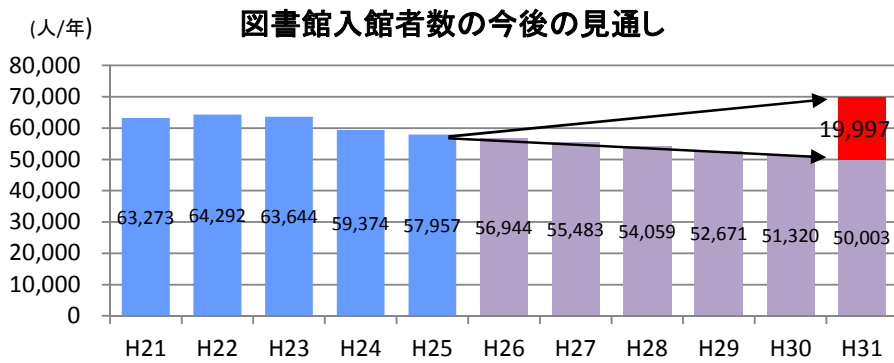
単位:人/年

年度	利用者数
	市民会館
H21	63,273
H22	64,292
H23	63,644
H24	59,374
H25	57,957

資料 小矢部市統計資料



年度	予測値	目標値
H31	50,003	70,000



## 設定に関する検討

市の交通拠点である石動駅の改築と合わせて駅舎との合築施設として、整備することによって、駅来利用者など新たな来訪を見込み、年間入館者数を57,957人/年(H25)から、70,000人(H31)に増加させる。

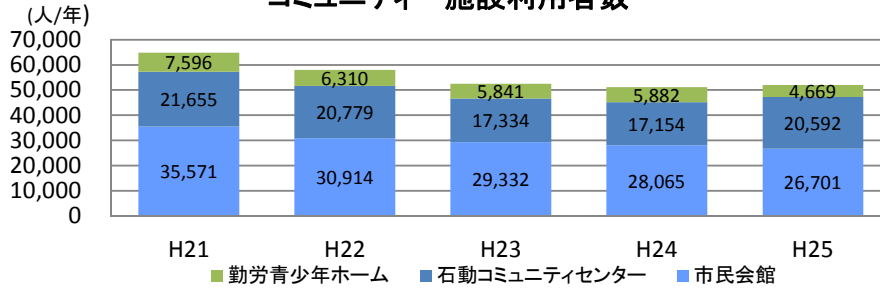
## 指標2 コミュニティ施設利用者数

単位:人/年

年度	利用者数			
	市民会館	石動コミュニティセンター	勤労青少年ホーム	3施設合計(H25)
H21	35,571	21,655	7,596	64,822
H22	30,914	20,779	6,310	58,003
H23	29,332	17,334	5,841	52,507
H24	28,065	17,154	5,882	51,101
H25	26,701	20,592	4,669	51,962

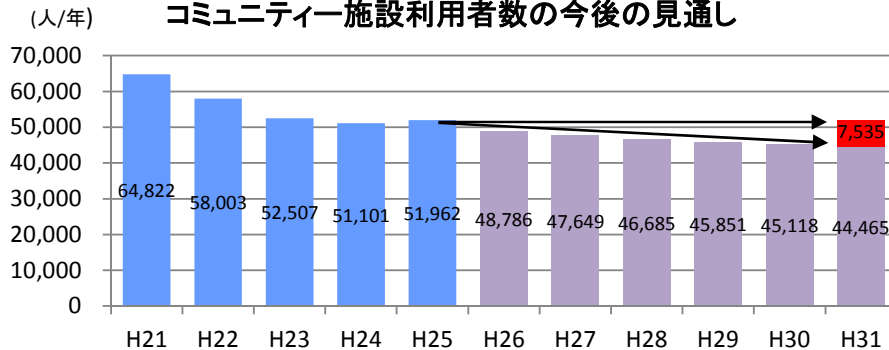
資料 小矢部市統計資料

### コミュニティ施設利用者数



年度	予測値	目標値
H31	44,465	52,000

### コミュニティ施設利用者数の今後の見通し



#### 設定に関する検討

市中心部のコミュニティ施設3つ(市民会館、石動コミュニティ、勤労青少年ホームの年間利用者数)の利用者は、近年減少傾向である。これら3つの施設の機能を合わせて、現市民会館の場所に、(仮称)石動コミュニティプラザを整備する。施設の延べ床面積は縮小するが、利便性を向上させることによって、現在と同水準の利用者数を確保する。

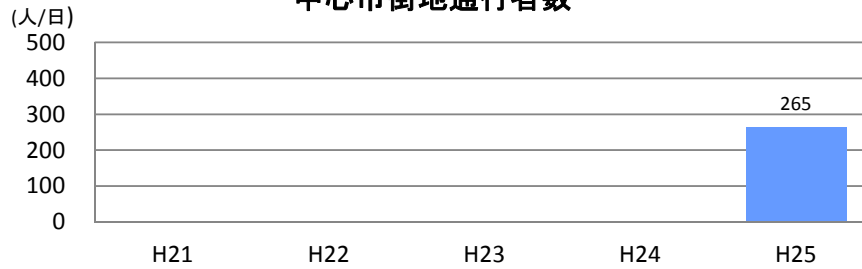
### 指標3 中心市街地通行者数

単位:人/日

年度	中心市街地 通行者数	
H22		平日 239人/日 休日 291人/日
H23		
H24		
H25		
H26	265	

資料 越前町商店街交通量調査結果報告(H26実施)

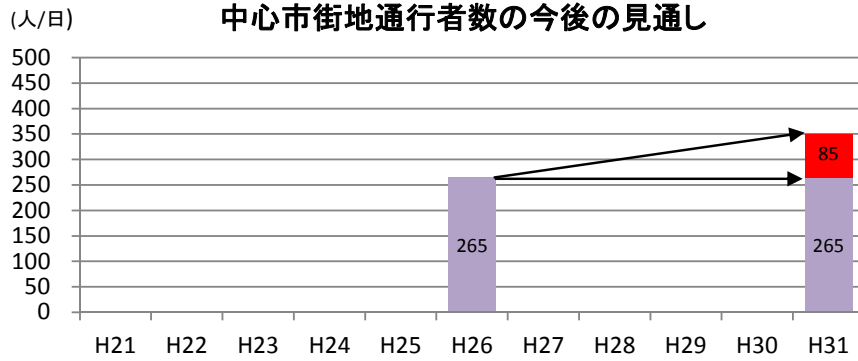
#### 中心市街地通行者数



単位:人/年

年度	従前値	目標値
H31	—	350

#### 中心市街地通行者数の今後の見通し



#### 設定に関する検討

おやべ街中バル事業、共通ポイントカード導入支援事業、おやべ光のまちプロジェクト、デジタルサイネージ整備事業、周遊提案チラシ事業を行うことにより、現在と同水準の通行者を確保しながら、平成27年7月にオープンしたアウトレットパークの来場者(見込数 300万人/年)の1%を街中に誘導することにより85人/日の増加を見込む。